

ふたみきた

令和2(2020)年7月1日
 明石市立二見北小学校
 学校だより 第457号

今月の予定



「命の週間」 命の大切さはみんな同じ

校長 赤松 弘一



今年の夏も非常に暑い日が続くようです。地球の温暖化はその速度を緩めそうもありません。生存が脅かされるようになってからは手遅れですが、漠然とした危機に対し、それを自分のこととして真剣に考え、温暖化防止に取り組むのは簡単ではないようです。

新型コロナウイルスでの死者が全世界で46万人を数え、1日で4000人以上の人が亡くなっています。日本でもこれまでに950人を超える人が亡くなっています。(6月22日現在)

大変な数ですが、一人ひとりにはかけがえない尊い命であり、その何倍もの数の家族が悲しみに暮れています。第2波の到来の可能性もあります。コロナウイルスの危険を自分のこととして捉え、油断せずにマスクと手洗いを続けましょう。

アメリカで起こった黒人のジョージ・フロイドさんの死亡事件は世界中に大きな波紋を広げています。黒人差別問題に多くの人の目が向いています。世界の都市で「黒人の命も大切」という文字が書かれたプラカードを持った人々がデモ行進し、大阪でもたくさんの方がデモに参加しました。今回の事件を発端に、黒人差別の是正を訴えるだけでなく、先住民や移民に対する差別・格差の問題などにも抗議の声が上がっています。そして声を上げているのは差別されている人だけではなく、あらゆる人種、民族、年齢の人々であるところが、これまでの抗議デモと違うといわれます。一般に被害者以外は無関心であったり沈黙したりしていることが多いです。しかし、今回の事件ではたくさんの人々の中に「当事者意識」が高まっているのかもしれない。ジョージさんが首を足で押さえつけられているニュースの映像が世界中の人々の目に届けられたことも大きく影響しているでしょう。

これまでこのような抗議デモは、怒りと怒りが衝突してエスカレートし、またそれに便乗して破壊や略奪をする人が現れ、本来の訴えや解決への努力が潰されて、人々の共感が得られず、無力感だけが残って解決につながらないことも多かったように思います。しかし今度は、生きる権利の擁護と格差や不公平な仕組みの是正を、誰もが当事者として考える大きな流れになるのかもしれない。亡くなったジョージさんも、対立し憎しみ合うことよりも、『命を大切にし、互いを認め合い協調できる社会』を求めていると思います。

二見北小学校では6月26日から7月3日までを「命の週間」として、道徳の授業などを通して命の大切さや他者への思いやりについて学びます。9年前に起きた、本校児童の溜池での悲しい事故の教訓をもとに児童に水の事故の危険を指導すると共に、溜池パトロールを行い、事故を繰り返さないように取り組みます。命より大切なものはありません。自分の命、そして他者の命を大切にするためには、自分を好きになること、そして自分が役に立っていること(自己有用感)、他の人から大切にされていることを実感できることが必要です。学校でもいろんな体験を通して子どもたちにそのような気持ちを育ててまいります。

これからも各ご家庭・地域の皆様には、子どもを事故や事件から守るために、登下校見守りや溜池にもご注意いただくなど、ご協力下さいますようお願いいたします。



命の始まり
 5年生の理科インゲン豆の発芽

日	曜	行事
3	金	命の集会
7	火	Fタイム(サークル)
14	火	代表委員会
15	水	子ども安全の日
17	金	スクールカウンセラー来校日
21	火	Fタイム(クラブ)
22	水	情報モラル研修(4・5・6年生)
23	木	海の日
24	金	スポーツの日
27	月	修学旅行説明会
31	金	1学期給食最終日 スクールカウンセラー来校日
8月の予定		4日:個人懇談会 5日:個人懇談会 6日:個人懇談会 平和集会 7日:終業式 11日:夏季休業日 17日:始業式 一斉下校 18日:給食開始日 25日:Fタイム(サークル) 28日:スクールカウンセラー来校日 31日:教育相談日 身体測定(6年) ※8月18日給食開始の予定ですが、変更になる可能性があります。

※以前配布しました「北っ子カレンダー(年間行事)」から変更がありますので、HPに随時アップしております。ご覧ください。

一年生をむかえる会

6月23日に一年生をむかえる会がありました。今年は運動場で、6年生手作りの王冠をかぶり、お兄さんお姉さんと嬉しそうに入場しました。各学年から歓迎の言葉をもらい、1年生も元気な掛け声で応えました。児童会役員による北っ子レンジャーの登場や〇×ゲームで盛り上がり、楽しく和やかな雰囲気の中で1年生をむかえることができました。



命の週間

6月26日からの命の週間に、道徳の授業などで命の大切さについて学びました。北っ子の感想を紹介します。

道徳『生きているじぶん』を学習した感想です。からだは、あたたかい。しんぞうはどくどくしている。ほつぺたはぶにぶにしている。ひとりにひとつたいせつないのちがあり、じぶんのいのちだけではなく、かぞくやおともだちのいのちもたいせつにしたいというかんそうがありました。(1年)『生きているじぶん』

いのちの学しゅうをして、このお話に出てきたけんちゃん、「もっともっと元気でいよう」と思ったわけは、おかあさんが、がんばってじぶんを生んで、大せつにそだててくれたとわかったからだと思います。わたしも、おかあさんに大せつにしてもらっているのだと思いました。だから、わたしは元気よく生きたいと思います。

(2-3)『いまのぼく、むかしのぼく』

この学習で出てきたこうすけくんは、7年間しか生きられなかったけど、病気が分かってからも、いろいろなことに一生けん命でした。運動会でも、あきらめずに走りました。まだまだ、やりたいことがあったと思います。やりたいことがあっても、まだ生きてくても、生きられない人がたくさんいると思います。ぼくは、たった一つしかない命を大切にしていきたいと思います。自分の命や、家で育てているアサガオも大切にします。

(3-1)『光祐くんのアサガオ』

「せいいっぱい生きる」とは、私は、「命がなくなるまで、一つ一つを大切に」ということだと思います。理由は、命がなくなると人間は生きることができません。だから、せいいっぱい生きないと、大切な命をむだにしてしまうことになります。私は、この話を勉強して、命の大切さをあらためて感じました。わけは、命はとりかえることはぜつたいにできない大切なものです。だからこそ、命というかぎられた時間を「せいいっぱい生きたい」と思いました。

(4-1)『命 せいいっぱい生きる』

私が印象に残ったのは、大事に育てた稲に火をつけてまで村人を守った所です。命がけで稲を作ったのに、火をつけるとはそれ以上に「命」が大切なのだと思います。この『稲むらの火』を学習する前と後で、命への思いがちがいます。学習する前は自分の命が守れたら大丈夫だと思っていました。でも、学習した後は命は一つしかないから友だちなどの命も大切だと気づきました。これからは、自分と他人の命を守る方法を一番に考えていきたいです。

(5-3)『稲むらの火』

これを学習して、私はこれからもっと自分の体を大切に、ほこりを持って生きたいと思いました。なぜなら健康で生まれてくるのはすごいことだと思ったので、自分の体を大切に生きていきたいです。

そしてもっともっと自分の命を大切にしていきます。産んでくれた親と、今まで私が生きてきた中で支えてくれたたくさんの人たち、私が頂いてきた魚や動物たちの命の全てに感謝したいです。前よりもご飯をしっかり食べて、感謝を忘れず生きていきたいです。

命が続くというのは、とってもしも良いなと思います。結婚子どもを産んでも大変なことがあると思います。でも、それを乗り越えて今私が元気にいます。だから私もこの命のバトンを大切に、次につないでいきたいです。

(6-2)『生かされている「大切な命」』

3年生 校区探検



6月9日(火)は北コース、6月12日(金)は南コースにたんけんに行きました。わたしは校区たんけんに行っているいろいろ見た中で、水門がお気に入りです。さいしょは、「小さな船なのかな」と思ったけど、先生が「水門は、水があふれたときにとめるもの」と言われてびっくりしました。2年生のときは水門を見なかったの、3年生ではじめて知りました。「明石の人たちは、もしもの時にそなえてじゅんびしているんだな」と思いました。いろいろと知れてよかったです。

(3-1)

6月9日(火)は北コース、6月12日(金)は南コースの校区たんけんに行きました。大きなどうろを出たところに、交番があって、これまで行ったことがなかったけど、りっぱな交番でした。つぎに、大年じん社に行って、大きな木を見ました。大年じん社にはかみ様がいることをはじめて知りました。また、大年じん社に行ったらおいのりしてみたいです。よい校区たんけんでした。

(3-1)

わたしが発見した所は、サンゴジュ公園です。ブランコやすなばもありました。サンゴジュ公園があったのは、南コースです。北コースには、大年じん社と消ぼうだんのそうこがありました。校区ってすてきだなあと思いました。

(3-2)

ぼくは、校区たんけんに行って、りっ橋をわたりました。初めて行ったところなので、わくわくしました。上るのは、かいだんじゃなくて、坂道みたいのところだったので、自転車も通れるようにしてあるんだと思いました。校区に住んでいる人たちのために、くふうしてくれているんだと分かりました。

(3-2)

6月9日(火)は北コース、6月12日(金)は南コースにたんけんに行きました。

一番心にのこったのは、北コースで行った大年じん社です。理由は、大年じん社の中のかみ様のたて物と、こま犬が少しこわかったからです。それに、じん社の木がものすごく大きかったです。前に家ぞくで、大年じん社へ行ったとき、みんなでかねを鳴らしました。きれいな音ですごくひびいていたから、校区のじまんにじん社をえらびました。

(3-3)

6月9日(火)は北コース、6月12日(金)は南コースにたんけんに行きました。

一番心にのこったのは、北コースのしょうぼうだんのそうこです。中にしょうぼう車があるそうです。とくにびっくりしたのは、シャッターにゆうめいな明石ダコとプラネタリウムの絵がかいてありました。いちど、しょうぼうしさんがはたらいているところを見たいです。

(3-3)

